

# 100-288

## 問題文

上記の処方薬剤に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. ジソピラミドリン酸塩徐放錠は、不応期を短縮させ房室ブロックに用いる。
2. ワルファリンカリウム錠は、血栓形成を抑制し、脳塞の発症を予防する。
3. ランソプラゾール口腔内崩壊錠は、併用薬の酸化的分解の抑制のため用いる。
4. ニフェジピン徐放錠は、労作時狭心症発作時の治療に用いる。
5. レボセチリジン塩酸塩錠は、鼻汁分泌を抑制し、アレルギー性鼻炎に用いる。

---

## 解答

問288 : 3問289 : 2, 5

## 解説

### 問288

抗血栓治療中の患者が出血を伴う処置前に休薬し、より作用時間の短いヘパリンに薬を置換する事を、ヘパリン置換といいます。休薬期間は、ワルファリンの場合、3～5日です。従って、術前休薬期間は4日、代替薬はヘパリン が適切です。

以上より、正解は3です。

### 問289

選択肢1ですが

ジソピラミドは、クラスIaの抗不整脈薬です。不応期を延長します。短縮では、ありません。また、房室ブロックは注意すべき副作用です。よって、選択肢1は誤りです。

選択肢2は、正しい選択肢です。

選択肢3ですが

酸化的分解をする薬は併用薬の中にはありません。よって、選択肢3は誤りです。

選択肢4ですが

ニフェジピンは、Ca拮抗薬です。狭心症の発作時に用いる薬では、ありません。代表的な発作時に使用する薬としては硝酸薬があります。よって、選択肢4は誤りです。

選択肢5は、正しい選択肢です。

以上より、正解は2,5です。